

# ここから始める政治理論

田村哲樹 = 松元雅和 = 乙部延剛 = 山崎 望

2017年4月発売 / 256頁 / 本体1900円+税  
A5判 / 並製



編集  
担当者  
から

政治理論とは、政治学の中でも思想や哲学を扱う分野であり、多くの人にとっては、難しいという印象を持っているのではないのでしょうか。本書は、そうした方にもまずは手にとってもらえるよう、身近な話題を切り口に、説明を進めていきます。そのほかにも、コラムを入れたり、読書案内を設けたり、手にとってもらうだけでなく、気軽に読み進められて、しかもその先の学習にまでつながるよう工夫されています。

「そもそも政治って何?」「どのような政治が望ましいの?」「あるべき社会の姿とは?」そうした問題を考える際のヒントが数多くちりばめられています。ぜひとも皆さんにも、本書を片手に、考える楽しさを味わっていただきたいと思います。(TI)

Index



各章は、普段の生活でも出くわすような問いから始めています。

- 第1章 政治理論の始め方
- 第2章 政治とは何か?
- 第3章 「私の勝手」で済むか?——リベラリズム
- 第4章 どうして助け合わなければいけないのか?——分配的正義論
- 第5章 あなたも「不正義」に加担している?——グローバル正義論
- 第6章 みんなで決めようがよい?——民主主義／自由民主主義
- 第7章 多数決で決めればよい?——熟議民主主義とラディカル・デモクラシー
- 第8章 民主主義は国境を越えるか?——グローバル民主主義
- 第9章 「私」とは誰か?——政治理論における個人
- 第10章 私は何をどこまでできるのか?／できないのか?——権力論
- 第11章 「私のこと」も政治か?——政治理論としてのフェミニズム
- 第12章 「国民である」とはどういうことか?——ナショナリズム
- 第13章 異文化体験でわかりあえるか?——多文化主義
- 第14章 公共性はどこにある?——市民社会論、コミュニティ論
- 第15章 「市民である」とはどういうことか?——シティズンシップ